

日本スピードボール協会

2013 年度事業計画

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

1. 事業方針

本会は、わが国におけるスピードボール界を統轄し代表する団体として、スピードボール競技の普及および振興を図り、もって児童・青少年の健全な育成と国民の心身の健全な発達に寄与し、また豊かな人間性を涵養すること及びスピードボール選手の育成・強化を行ない、国内スポーツ界並びに国際的な名誉ある地位を占めるための競技力向上を図ることが目的である。近年、わが国のスポーツ界を取り巻く環境は、情報社会化、少子化に伴う競技スポーツ人口の減少等により、急激な変化が生じている。このような環境変化の中、基盤強化の年と位置づけ、スピードボールの発展に向け下記重点課題に関し全組織を挙げて取り組む。

- (1) 小学生～高校生を中心とした児童や学生のスピードボール・ジュニア競技人口の拡大に関し、実質的かつ具体的な活動を、全組織を挙げて取り組む。
- (2) 競技人口の拡大を実現するためにスピードボール教室の開講や体験会開催の普及事業を具体的に推進していく。
- (3) 前述の目的を達成するため、収入の拡大、経費の削減を進め、財務体質の改善と協会運営の効率化を推進する。
- (4) 競技会や記録会をより多く開催し、競技者がスピードボール競技に参加できる機会を増加させ、プレーヤーのニーズに対応し、技能向上を促進する。

2. 事業内容

- (1) ジュニア層に対するスピードボール普及事業
小学生から高校生までのジュニア層への普及のため、学校や地域スポーツクラブへのスピードボールの紹介を行なう
- (2) 公認指導教室の普及事業
現在開催しているカルチャーセンターや自治体の体育館で開催しているスピードボール教室の集客を強化すると同時に、同様の指導教室を他地区にも展開できるよう基盤整備を行い、体験会等を通じてスピードボール教室を紹介・普及する
- (3) 公式競技会開催事業
以下の公式競技会を開催する
 - ・ JSBF 杯全国選抜スピードボール大会 6/2

- ・ 全日本スピードボール選手権大会 7/15
- ・ 全日本ジュニア・マスターススピードボール選手権大会 9/29
- ・ JAPAN OPEN (日本オープンスピードボール選手権) (仮名) 1/26
- ・ 全日本スピードボールチーム対抗競技大会 3/29

(4) 各自治体主催スポーツフェスタでの紹介・普及事業

自治体が主催するスポーツフェスティバルへ参加し体験会を通じてスピードボールの認知向上、広報、普及活動を行なう

(5) 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

公式競技会の結果により強化選手、代表選手の選考を行い、育成強化を行なう

(6) 国際大会及び国際交流事業

独立行政法人国際交流基金の「知的交流会議助成プログラム、地域リーダー・若者交流助成」申請を行い、事業が認定された場合においては、ジュニア選手・若年選手の国際交流事業を実施する

(7) 講習会開催・指導者養成事業

指導者養成の講習会を告知して受講者を募集し、随時講習会を実施する

(8) アンチドーピング啓蒙活動事業

アンチドーピングの啓蒙活動を推進し、日本 AD 機構へ加盟を目指す

(9) その他

児童や青少年、社会人、熟年世代にスポーツの楽しさや素晴らしさを伝える広報活動を充実させる。また組織の柔軟な活動や、より効率的な普及を実現するため各種規程の見直しを実施する。

以上